

会社法の「苦手と感じる」論点を丁寧に学習！

弱点克服講座においては、受験生の方が一般に苦手と感じる論点であり、かつ、出題可能性がある論点を積極的に取り扱います。ここで、「苦手と感じる」と表現したのは、決して論点自体の難易度が高いからではなく、十分な時間をかけて学習をしていないだけだからです。まだ時間があるこの時期だからこそ、苦手と感じる論点を丁寧に学習することができます。

講義内容 < 講義形式 > 3時間／各回

回数	科目	テーマ
第1回	会社法1	①株式会社の計算等 ②持分会社 ③社債
第2回	会社法2	④組織再編 ⑤訴訟 ⑥特例有限会社
第3回	会社法3	なお、これらの論点であっても、この講座では平成28年度に出題が予想される論点を中心として講義を行うため、平成27年度司法書士試験で出題された論点は、基本的に取り扱いません。

使用テキスト

● オリジナルレジュメ ※教材費は受講料に含まれております。

民訴等科目の正しい思考方法を養成！

弱点克服講座の「対象者」に該当する方や、試験において民訴等科目の正答率が70%に満たない方を対象に知識の理解と定着を目的とする講座です。この講座の特長は、設例を用いた講義を中心として楽しく学習します。また、民訴等科目の基礎知識となる民法、不動産登記法との関連知識にも言及し、講座毒の復習シートや確認テストで徹底して復習する環境を提供します。

講義内容 < 講義形式 > 3時間／各回

回数	科目	テーマ	回数	科目	テーマ
第1回	民事訴訟法1	● 民訴・民執・民保の全体構造 ● 訴訟の主体	第9回	民事執行法1	● 民事執行法の総論
第2回	民事訴訟法2	● 訴訟の客体 (訴え、訴訟上の請求、訴訟物、申立事項と判決事項) ● 訴えの提起	第10回	民事執行法2	● 不動産執行 ● 動産執行
第3回	民事訴訟法3	● 訴訟の審理 (弁論主義、送達、口頭弁論、欠席手続)	第11回	民事執行法3	● 債権執行 ● 非金銭執行 ● 担保権の実行 ● 形式的競売 ● 財産開示手続
第4回	民事訴訟法4	● 訴訟の審理 (証拠、訴訟手続の停止)	第12回	民事保全法1	● 民事保全 ● 保全命令に関する手続
第5回	民事訴訟法5	● 訴訟の終了	第13回	民事保全法2	● 保全執行に関する手続
第6回	民事訴訟法6	● 判決の効力 ● 複数請求訴訟	第14回	供託法1	● 供託制度 ● 供託の当事者 ● 弁済供託 ● 供託の申請・払渡し
第7回	民事訴訟法7	● 多数当事者訴訟 ● 上訴	第15回	供託法2	● 執行供託 ● 滞調法 ● 供託成立後の権利変動
第8回	民事訴訟法8	● 簡易裁判所の特則 ● 手形訴訟	第16回	司法書士法	● 司法書士法 (全編)

使用テキスト

● オリジナルレジュメ ※教材費は受講料に含まれております。